

## ほんにんかつどう がいようせつめい 本人活動についての概要説明

### ほんにんかつどう なに しゆし 本人活動とは何か(主旨);

ほんにんかつどう ちてきしょうがい どうじしゃほんにん ほんにん ほんにん かつどう  
本人活動とは知的障害のある当事者本人の、本人による、本人のための活動であり、

ちてきしょうがい どうじしゃほんにん いし きぼう さいだいげん そんちよう かつどう  
知的障害のある当事者本人の意思や希望を最大限に尊重した活動である。

### ほんにんかつどう もくてき 本人活動の目的;

1) ともだち ひと こうりゆうしながら せいしん もってこころ つなげて  
友達をつくる; いろいろな人と交流しながらフレンドシップ精神を以って心を繋げて  
いく。そして更に友好と親睦を深め、絆を強めていく。

2) きょうよう たかめる ちてきしょうがい どうじしゃ きょういく うける けんり ちてきしょうがい  
教養を高める; 知的障害のある当事者も教育を受ける権利があります。知的障害  
に関するあらゆる事柄を学びながら情報収集したり、情報交換を  
しながらお互いに切磋琢磨して、みんなで一緒に成長していく。

3) たのしむこと はなしあい きめ たかつどうぎょうじ こころ おもう  
楽しむこと; 話し合いなどで、みんなで決めた活動行事を心ゆくまで思う存分  
楽しんでいく。自分さえ楽しんでいればいいという考えは絶対に  
いけません。みんなでよろこび かみ わかちあって  
いきましよう。

### ほんにんかつどう つくりかた おこないかた 本人活動の作り方と行い方;

ほんにんかつどう つくってこうどう かつどう おや かい とくべつしえんがっこう  
本人活動はグループを作って行動する活動です。親の会や特別支援学校などの

イベントでいつもいっしょ こうどう なかま つくって  
一緒に行動している仲間「グループを作っているいろんなことをやりた

いんだけど、きみ ぼく いっしょ よびかけて  
いんだけど、君も僕と一緒にやってみない?」と呼びかけていきます。

グループができればメンバーを集めて「何をやっていくか？」を話し合っ<sup>あつめて なに</sup>て活動行事<sup>はなしあつてかつどうぎょうじ</sup>

を決めます。活動<sup>きめ ます</sup>をしていくにはお金<sup>かつどう</sup>がかかるので、会費<sup>おかね</sup>を集めます。しかし、会費<sup>かいひ</sup>

だけでは活動資金<sup>かつどうしきん</sup>が足りない<sup>た ら ない</sup>ので、各行事ごと<sup>かくぎょうじ</sup>に参加費<sup>さんかひ</sup>を集めます<sup>あ つ め ます</sup>。

本人活動<sup>ほんにんかつどう</sup>にはお手伝い<sup>お て つ だ い</sup>をしてくれる支援者<sup>し え ん し ゃ</sup>が絶対<sup>ぜ っ っ たい</sup>に必要<sup>ひ つ よ う</sup>です。保護者<sup>ほ ぐ し ゃ</sup>・父兄<sup>ふ け い</sup>の

方々<sup>かたがた</sup>やボランティアセンター<sup>い っ て し ゅ くい ん</sup>に行<sup>そ う だ ん</sup>って職員<sup>さ が し て</sup>に相談<sup>さ ぐ せ ん</sup>して探<sup>た づ ね</sup>してもらい<sup>た づ ね</sup>ましょう。

### 本人活動<sup>ほんにんかつどう</sup>における<sup>やくわりぶんたん</sup>役割分担<sup>やくわりぶんたん</sup>;

グループで活動<sup>かつどう</sup>していくには会長<sup>かいちょう</sup>、副会長<sup>ふくかいちょう</sup>、会計<sup>かいけい</sup>などの役割<sup>やくわり</sup>を分担<sup>ぶんたん</sup>していくことが

とても重要<sup>じゅうよう</sup>です。会長<sup>かいちょう</sup>は常<sup>つねに</sup>にリーダーシップ<sup>も っ て</sup>を以<sup>ひ</sup>ってメンバー<sup>び</sup>をまとめながら引<sup>ひ</sup>っ張<sup>ば</sup>っ

ていく役割<sup>やくわり</sup>を、副会長<sup>ふくかいちょう</sup>は会長<sup>かいちょう</sup>を常<sup>つねに</sup>に助<sup>たす</sup>ける役割<sup>やくわり</sup>を、会計<sup>かいけい</sup>はメンバー<sup>あ つ め た お かね</sup>から集<sup>あ</sup>めたお金<sup>かね</sup>を

管理<sup>かんり</sup>する役割<sup>やくわり</sup>をそれぞれ<sup>い っ ぱ</sup>担<sup>た</sup>っています。

これらの役割分担<sup>やくわりぶんたん</sup>は話し合<sup>はなしあ</sup>いで決<sup>き</sup>めるやり方<sup>やりかた</sup>と任期<sup>にんき</sup>をあらかじめ<sup>さだめて</sup>選<sup>せん</sup>挙<sup>きよ</sup>で決<sup>きめ</sup>

るやり方<sup>やりかた</sup>があります。その中<sup>なか</sup>で注<sup>ちゅう</sup>意<sup>い</sup>しておくこと<sup>こと</sup>は、自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>がで<sup>で</sup>き<sup>き</sup>な<sup>な</sup>いからと<sup>か</sup>らと<sup>と</sup>い<sup>い</sup>っ<sup>つ</sup>て<sup>て</sup>一<sup>い</sup>人<sup>にん</sup>の

ひと<sup>ひと</sup>に全<sup>すべ</sup>て<sup>て</sup>を<sup>を</sup>押<sup>お</sup>し<sup>し</sup>付<sup>つ</sup>け<sup>け</sup>る<sup>る</sup>の<sup>の</sup>は<sup>は</sup>絶<sup>ぜ</sup>対<sup>たい</sup>に<sup>に</sup>い<sup>い</sup>け<sup>け</sup>ま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん<sup>ん</sup>。み<sup>み</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>が<sup>が</sup>そ<sup>そ</sup>れ<sup>れ</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>れ<sup>れ</sup>の<sup>の</sup>役<sup>やく</sup>割<sup>わり</sup>を<sup>を</sup>担<sup>た</sup>っ<sup>つ</sup>て<sup>て</sup>い

か<sup>か</sup>な<sup>な</sup>く<sup>く</sup>て<sup>て</sup>は<sup>は</sup>な<sup>な</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん<sup>ん</sup>。で<sup>で</sup>き<sup>き</sup>る<sup>る</sup>だ<sup>だ</sup>け<sup>け</sup>選<sup>せん</sup>挙<sup>きよ</sup>で<sup>で</sup>役<sup>やく</sup>割<sup>わり</sup>を<sup>を</sup>決<sup>き</sup>め<sup>め</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>よ<sup>う</sup>う。

### 本人活動<sup>ほんにんかつどう</sup>における<sup>しえんしや</sup>支援者<sup>しえんしや</sup>の役割<sup>やくわり</sup>;

本人活動<sup>ほんにんかつどう</sup>における<sup>しえん</sup>の支援<sup>ものごと</sup>とは物事<sup>とき</sup>がで<sup>で</sup>き<sup>き</sup>な<sup>な</sup>い時<sup>とき</sup>や悩<sup>なや</sup>み<sup>み</sup>が<sup>が</sup>発<sup>は</sup>生<sup>せい</sup>して<sup>して</sup>困<sup>こ</sup>ま<sup>ま</sup>つ<sup>つ</sup>た<sup>た</sup>時<sup>とき</sup>に<sup>に</sup>援<sup>えん</sup>助<sup>じょ</sup>

する<sup>す</sup>こと<sup>こと</sup>で<sup>で</sup>、支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>者<sup>しや</sup>は<sup>は</sup>そ<sup>そ</sup>の<sup>の</sup>役<sup>やく</sup>割<sup>わり</sup>を<sup>を</sup>担<sup>た</sup>っ<sup>つ</sup>た<sup>た</sup>人<sup>ひと</sup>を<sup>を</sup>い<sup>い</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す。

本人活動<sup>ほんにんかつどう</sup>を行<sup>おこな</sup>っ<sup>つ</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>く<sup>く</sup>上<sup>じやう</sup>で<sup>で</sup>、支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>者<sup>しや</sup>の<sup>の</sup>存<sup>ぞん</sup>在<sup>ざい</sup>は<sup>は</sup>絶<sup>ぜ</sup>対<sup>たい</sup>に<sup>に</sup>必<sup>ひ</sup>要<sup>よう</sup>です。支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>者<sup>しや</sup>に<sup>に</sup>お<sup>お</sup>き<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>て

は<sup>は</sup>知<sup>ち</sup>的<sup>てき</sup>障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>当<sup>とう</sup>事<sup>じ</sup>者<sup>しや</sup>本<sup>ほん</sup>人<sup>にん</sup>の<sup>の</sup>気<sup>き</sup>持<sup>もち</sup>ち<sup>ち</sup>を<sup>を</sup>十<sup>じゅう</sup>分<sup>ぶん</sup>に<sup>に</sup>理<sup>り</sup>解<sup>かい</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>ほ<sup>ほ</sup>しい<sup>い</sup>と思<sup>おも</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す。

## どんなことをやっているのか(活動内容);

- 話し合い(何をやっていくかを定める)
- カラオケやボウリングなどのレクリエーション
- 飲み会(忘年会や新年会など)
- 旅行や日帰り観光、博物館などの見学
- 交流会やイベントの実施・参加
- 生活上や仕事上などについてのお悩み相談
- シンポジウムやセミナーなどの学習会実施・参加
- ※手をつなぐ育成会主催の各種大会の参加

※手をつなぐ育成会とは知的障害のある当事者とその保護者・父兄の方々や知的障害者機関の分野に関わっている人達の活動を支援している公益団体です。

## 本人活動の“本人”とは誰のことを指すのか？;

本人活動の“本人”とは知的障害のある当事者本人のことを指します。“知的障害”は数十年前までは“精神薄弱”と呼ばれていましたが、近年になって“身体障害・精神障害”と同じ風と呼ばれるようになりました。

それでは何故“本人活動”と呼ぶのか？については“知的障害者活動”では長くていいにくいのと最近では少なくなってきましたが、“知的障害者”という言葉に抵抗を感じている人がまだまだいるからです。

## なぜ本人活動は必要なのか？

最近では少なくなってきましたが、障害を理由に楽しむ場所に誘われなかったり、

自分の力だけでは情報収集できなかったり、自分の意思や希望が言えなかったり

など、知的障害のある当事者本人の活躍する場所がありません。

知的障害のある当事者本人にも物事を楽しんだり、自分の意見や将来を語ったり、

情報を収集する権利があり、それらを達成する場所が必要です。

本人活動は知的障害のある当事者本人の可能性を見出したり、飛躍できる活動で

す。障害のない人にはこの本人活動に参加して、知的障害のある当事者と“共生

社会”について考えていってほしいと思います。

## 本人活動の規模；

本人活動を行っているグループを“本人の会”といいます。本人の会は日本全国で

300 の地域にあって、それぞれ活動を行っています。最近各都道府県では地域を

一つにまとめて全体的な活動を行っているところが出てきています。それとこの本人

活動は世界各国にもあって、それぞれ活発に活動を行っています。

“本人の会”を立ち上げる地域が今後も更に増えると予想されていますが、新しく

立ち上げる“本人の会”と交流して、活動の幅を広げていけばいいなあと思います。

## 本人活動・今後の目標；

他地方・他方面の人達と交流の場を増やし、友好・親睦を深めながらネットワーク

輪を広げていくと同時に、障害のない人にも本人活動にどんどん参加して知的

障害のある人と一緒に共生社会を目指していってほしいと思います。